

教科〔家庭科〕 第〔3〕学年	年間指導計画	
	月	学習内容
<p>*到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、家庭に対する関心を高め、生活をよりよくする意欲を持つ。 ・食生活について自分の経験や知識から考えや意見を書いたり発表したりできる。 ・本や新聞、雑誌、インターネットから必要な資料を集めて、自分の考えをまとめる力をつける。 ・実習はポイントに気をつけて、安全で能率的に作業ができる。 ・学習には予想を立てて臨み、ふり返って課題を整理する。 		<p>ともに生きるわたしたち</p> <p>わたしたちの成長と家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼いころって、どんなだったろう ・幼児の生活と遊びを知ろう ・幼児の心身の発達の特徴を知ろう ・子どもにとっての家族を考えよう ・中学生にとっての家族を考えよう ・家族と地域とのかかわりを考えよう <p>幼児とのふれあい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が楽しく生活できるために ・幼児とのかかわり方を工夫しよう <p>わたしたちのよりよい生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境や資源を考えて生活しよう ・地域の人々とふれあおう
<p>*評価の観点・方法</p> <p>①関心・意欲・態度・・・すすんで課題を見つけ、計画、実践し課題を解決しようとしているか。発表、課題レポート、提出物、授業態度で評価します。</p> <p>②創意・工夫・・・家庭生活について見直し、課題を見つけ、解決しようとしているか。実習中の工夫、発表、レポート、定期テストで評価します。</p> <p>③技能・・・家庭生活に関する基礎的な技術を身につけ、課題を解決しようとしているか。実技テスト、作品評価、自己採点で評価します。</p> <p>④知識・理解・・・学習した基礎的な事柄を理解し、生活に活用しようとしているか。定期テスト、発表、レポートで評価します。</p>		
<p>*使用教材</p> <p>・教科書 新しい技術・家庭科 家庭分野 東京書籍</p>		
<p>*学習上の注意・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から積極的に授業に取り組むことが大切です。 ・説明を聞くときと実習をするときの区別が必要です。 ・実習は安全に気をつけ、協力して行う。 ・生活の中で授業と関連があることなど自分で調べてみましょう。→レポート提出 ・テストでは授業で習ったことと、自分の考えを述べる問題が出ます。 ・忘れ物がないようにし、提出物は必ず出しましょう。 ・学級の仲間と、教え合えるようになるとすばらしいです。 		
<p>*家庭学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で授業と関連があることなどを自分で調べてみましょう。 ・家庭生活に関わるテレビ番組、書籍などにたくさんふれてみましょう。 ・習ったことやわかったことを家庭生活の中で生かしてみましょう。 		